

三十年來の恩友

河盛好藏

永井さんとは戦後の付き合い合いです。戦後
 まもなく梅光利一さんが亡くなつたとき、
 告別式の参列者のなかには、小林秀雄さんに実
 によく似た人がいて、最初は見間違えたほど
 であるが、隣りにいた知人から、永井竜男氏
 接したのば、そのときが最初だった。

それから、二年たつてからだと、
 ・ 旗鶴社と「う」婦人雑誌を出して、今日出版社
 ・ 如う、編集顧問として、永井竜男、今日出版
 の西氏と一緒に、頼りに依頼される。更めて正式に永井
 さんに紹介された。今君とはそのすつと前か
 う、眠態であつた。その頃の永井さんは筆一本
 で起つこととを決意して、少ば背水の陣を敷
 いて創作に精進して、た時期であるが、
 会つても精気澄刺として、
 会う度に、